

学年	高校3年	教科	数学科	科目	数学演習	単位数	3
主教材名		オーダー問題集 (数研出版)		副教材名	サクシート数学 I+A (数研出版) サクシート数学 II+B (数研出版)		
コース・クラス		選抜文系					

I. 目標

数学の基本的な原理や法則を発展させ、知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を育てる。大学入試に必要な数学 I A II BC(ベクトル)の基本事項を学び、大学入学共通テストの得点率 7 割を目標とする。

II. 授業のねらい

基本事項の不足を確認し、知識を整理するとともに、数学の種々の問題を考え応用力を身につける。問題毎に定められた時間を意識し、大学入学共通テストのイメージをもつ。

III. 授業の進め方

1. 問題集を中心とした授業を展開する。
2. 大学入学共通テスト本番を意識し、時間を意識しながら取り組む。
3. 小テスト実施し、定着の度合いを図る。
4. 状況に応じて、問題集等の副教材を使用する。

IV. 学習上の留意点

1. 問題集、問題集用ノートを用意して授業に臨むこと。
2. 定期試験の返却後、間違えた問題を確認し、復習を行うこと。
3. 提出物の期限は必ず守ること。

V. 定期試験

問題集の内容を中心に、基礎学力到達度テストレベルの問題を 8 割、模擬試験レベルの問題を 2 割出題する。

- 1 学期 中間試験 : 数学 I A
1 学期 期末試験 : 数学 II BC(ベクトル)
2 学期 期末試験 : 数学 I A II BC(ベクトル)

VI 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標				
一学期	4	【数学Ⅰ】 1章 数と式、 2章 集合と命題	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> 基本事項を確認し、オーダー問題集を通して実践力を身につける。 共通テスト過去問や模試における、基本問題の解法を幅広く理解することができる。 				
	5	3章 2次関数 4章 図形と計量 5章 データの分析						
	6	【数学A】 1章 場合の数と確率 2章 図形の性質 3章 数学と人間の活動						
		7			【数学Ⅱ】 1章 式と証明 2章 複素数と方程式 3章 図形と方程式 4章 三角関数 5章 指数関数と対数関数 6章 微分法と積分法			
					【数学B】 1章 数列 2章 確率分布と統計的な推測			
	【数学C】 1章 平面上のベクトル 2章 空間のベクトル							
	二学期				9	基礎学力到達度テスト対策 I A II BC 問題演習	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> 基本事項を確認し、オーダー問題集を通して問題の意図を理解できる。 大学入学共通テストを意識し、時間配分を考えながら問題に取り組むことができる。 共通テスト過去問や模試で7割以上得点できる。
					10			
					11			
		12						

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。